

# 和光の緑と湧き水だより 会報 Verda139号

NPO 法人 和光・緑と湧き水の会 会報発行 2014年4月号 代表理事 高橋絹世 (462-9912)

身近な自然を知って守り伝えよう <http://wako-wakimizu.org/>

26年	全体会	新倉ふれあいの森	白子・大坂ふれあいの森 (地域の会と協力して)	樹林公園
4月	6日カタクリエコツアー(13時半～) 27日つつじ祭り(湧き水カフェ)	19日保全活動 26日竹の子掘り	3日モニ1000 白子湧水群 17日大坂ふれあいの森	
5月	5月17日 総会(総合体育館会議室) 移植後の松の保全と観察の会	17日保全活動 (午後は総会)	1日モニ1000 白子湧水群 15日大坂ふれあいの森	17日 総会後松 観察保全

## 1. 「和光の湧き水と自然を守り伝える」活動が認められ、第15回さいたま環境賞を受賞。

### 活動テーマ

県南最多！湧き水の街「和光の湧き水と自然」守り、伝える

—和光の身近な自然を調査・保全、自然まるごとガイドの実践—

3月25日「第15回さいたま環境賞」授賞式が行われ、上田知事より賞状を戴きました。式後には、湧き水の会のメンバー9名が市庁舎に集まり、和光市松本市長にご報告しました。



上田知事より賞状を授与。テレビ埼玉から賞品授与 松本市長、星野環境部長(推薦者)にご報告

**受賞の感想:**一地域での活動が“受賞”として認められたことは、光栄であり、これからの活動の励みとなります。ボランティアでの活動で、地域の人と人とのつながりにおいても、公的に評価していただいたことは会の財産となります。受賞を機に、フォーラムの開催や、成果を伝え広める活動、学校教育や行政との連携、日本自然保護協会やNPO法人自然観察指導員埼玉、地学団体研究会など広い視野での自然保護活動との結びつきに活かしていきたいと思っております。